

サッポロビール株式会社

課税移出(引取)数量報告 平成18年・上期分

サッポロビール(株) 広報室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位:KL、千函、%

<課税移出・上期分>		本年キリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キリットル	前年大瓶換算
①ビール	国産	206,966	16,348	▲ 0.6	208,270	16,451
	輸入	3,660	289	▲ 5.3	3,867	305
	小計	210,626	16,637	▲ 0.7	212,137	16,756
②発泡酒	国産	65,071	5,140	▲ 7.6	70,419	5,562
	輸入	0	0	-	0	0
	小計	65,071	5,140	▲ 7.6	70,419	5,562
③新ジャンル		106,220	8,390	▲ 24.3	140,323	11,084
総計(①+②+③)		381,917	30,167	▲ 9.7	422,879	33,403
ビール+発泡酒(①+②)		275,697	21,777	▲ 2.4	282,556	22,319
雑酒計(②+③)		171,291	13,530	▲ 18.7	210,742	16,646

*新ジャンルは、ドラフトとスリムスの合計。

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%。 *全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

<ブランド別販売状況>

単位:万函、%

	<上期>		
	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	1,140	▲ 3.2	1,177
エビス計	388	▲ 0.7	391
ギネス	27	12.7	24
生搾り計	374	▲ 31.5	546
雫	135	-	0
ドラフト	725	▲ 28.4	1,013
スリムス	58	▲ 29.6	82

<上期トピックス：市場動向・当社全般は課税数量、ブランド別は販売数量>

- 市場動向：1-6月の上期課税出荷の総需要前年比は、ビールは100.3%、発泡酒は84.5%、新ジャンルは139.7%で、ビール+発泡酒+新ジャンルでは101.1%でした。発泡酒は厳しい状況が続いているものの、ビールは昨年実績を上回りました。新ジャンルには新商品発売が相次ぎ、昨年を大きく上回りました。
- 当社全般：ビールは、エビスが好調ですが、わずかながら昨年実績を下回りました。発泡酒は、5月に新発売した雫[生]が好調で、総需要を上回るペースで推移しています。新ジャンルは、パ・イアのドラフトが3年目を迎えて完全に市場に定着しましたが、他社の新商品発売が相次ぎ、トライアル需要に押されたことから、昨年実績を下回りました。この結果、ビール・発泡酒・新ジャンル計では、総需要を下回りました。
- 黒ラベル：協働契約栽培麦芽・ホップの100%使用を訴求しました。安定したお客様を獲得していますが、昨年を下回りました。
- エビス：エビス単独では、昨年上期を大きく上回ったものの、エビスドラフト計では、昨年上期に発売した超長期熟成の裏返しで、昨年実績に若干及びませんでした。中元、歳暮に強いブランドでもあり、下期も好調を見込み、目標達成を目指します。
- ギネス：03年前年比106%、04年123%、05年135%、本年上期112.7%と成長を続けています。近年のアイリッシュパブ展開、ドラフトサージャー展開が奏功し、ブランド拡大が進んでいます。
- 生搾り：生搾り計では、374万函(68.5%)とほぼ年初の見込み通り推移しています。
- 雫：5月に新発売した雫[生]は、上期累計135万函に達し、好調に推移しています。
- ドラフト：ドラフトは上期で725万函(71.6%)を販売しました。3年目を迎えて完全に市場に定着しましたが、他社の新商品発売が相次ぎ、トライアル需要に押されたことで前年を下回りました。
- スリムス：スリムスは上期で58万函(70.4%)でした。安定したお客様を獲得しましたが、ファン層が固定化したため数字が伸び悩みました。

以上